



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6082 URL <https://www.rideonexpresshd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江見 朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,461	△6.9	53	△71.9	37	△73.6	1	△98.8
2023年3月期第1四半期	5,866	△1.5	191	△58.3	143	△68.6	93	△66.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 20百万円(△82.3%) 2023年3月期第1四半期 114百万円(△56.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.12	—
2023年3月期第1四半期	9.32	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,487	6,859	54.9
2023年3月期	13,539	7,131	52.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,858百万円 2023年3月期 7,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,998	△9.3	25	△94.6	18	△95.4	7	△97.1	0.79
通期	23,700	△6.5	623	△50.2	610	△44.5	369	△32.4	37.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	10,872,086株	2023年3月期	10,872,086株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,140,506株	2023年3月期	1,140,506株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	9,731,580株	2023年3月期1Q	10,027,442株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、社会経済活動が正常化に向かう中で、景気は徐々に回復をしております。先行きについては、物価の上昇や世界的な金融引き締めによる海外経済の下振れ等が経済活動に与える影響が懸念されますが、雇用・所得環境の改善が進むことで回復傾向が続くと想定されます。

当社グループの属する宅配食市場におきましては、高齢化社会の進展、単身世帯の増加、夫婦共働き世帯の増加を背景に、フードデリバリーやテイクアウト等の中食需要が増加することで堅調に推移しております。中長期的には、社会経済活動の正常化と共にライフスタイルの変化が進展することに伴い、フードデリバリー需要は今後も堅調に推移すると考えております。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、「誰もがご自宅にいながらにして享受できる、より便利で快適な新しいライフスタイルの創出」に貢献していく「次世代ホームネット戦略」を基本戦略として、事業活動に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による特需の反動は緩和されつつありますが、引き続きその影響を受けたことで主要ブランドである宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の売上は減少傾向で推移いたしました。また、繁忙期におけるテレビCMの放映や積極的なデリポイント施策の実施等により、マーケティングコストは増加しておりますが、2023年3月の価格改定により、店舗の収益構造が改善したこと等の影響で、販売費及び一般管理費は前年同四半期同等で推移いたしました。これらの活動により、営業利益は前年同四半期と比べ減少いたしました。

営業外損益においては、加盟店舗を買い取ったことによる店舗買取損を計上しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高5,461百万円(前年同四半期比6.9%減)、営業利益53百万円(前年同四半期比71.9%減)、経常利益37百万円(前年同四半期比73.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円(前年同四半期比98.8%減)となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

① 店舗・拠点

FCを含むチェーン全体の店舗数においては、宅配寿司「銀のさら」1店舗(FC店)、宅配御膳「釜寅」1店舗(直営店)を出店し、宅配寿司「銀のさら」3店舗(直営店)、宅配御膳「釜寅」1店舗(直営店)、宅配寿司「すし上等!」3店舗(直営店)を閉店いたしました。また、直営とFCの区分が変更されたことにより、直営店は宅配御膳「釜寅」1店舗の減少となっております。

これにより当第1四半期連結会計期間末における店舗数は772店舗(直営店280店舗、FC店492店舗)、拠点数は384拠点(直営店111拠点、FC店273拠点)となりました(※)。

※当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備(宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等)、及び「ファインダイン」における消費者が選ぶことのできる提携レストランのラインナップ(メニュー)毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

② 各ブランドの状況

商品戦略としましては、期間限定商品として、宅配寿司「銀のさら」では、人気の高い「キングサーモン」を使用した商品を提供いたしました。また、公式サイト限定で販売するスペシャル商品として、「いま!これ!勝負ネタ」シリーズを数量限定・期間限定で提供しております。5月には最先端の養殖システムを使用した環境負荷の少ない「渥美プレミアムサーモン」を提供、6月にはマグロー匹から2%しか取れない希少部位である「カマトロ」を使用した「極上トロキャンペーン」を実施いたしました。

販売戦略としましては、利用機会の創出と新規顧客の獲得を目的として、繁忙期であるゴールデンウィークにテレビCMを放映しております。また、自社電子ポイント「デリポイント」を活用することで、さらなる利用機会を創出するため、繁忙期や機会点において戦略的にポイントを発行しております。4月には「新生活応援キャンペーン」、5月には「母の日」デリポイント39%還元キャンペーン、6月には「父の日」デリポイント30%還元キャンペーンを実施するなど、WEB会員、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信、LINE公式アカウントからの情報発信、公式アプリからのプッシュ通知等、CRM(※)の確立に向けた活動を行っております。また、電子決済サービスの導入を拡充するなど、顧客の利便性向上に努めております。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配寿司「銀のさら」においては、テイクアウト併設型店舗の出店を推進しております。従来のデリバリーでの注文に加え、テイクアウトでの需要に応えることで、利便性の向上と新たな顧客層の開拓を進めてまいります。

提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」においては、配達エリアを再編し経営資源を集中することで効率化を図っております。販売促進においては、毎月お得なクーポンや情報を配信するなど、新規顧客の獲得とリピート利用の促進を目的とした各種施策を実施しております。

「専門店の美味しさをご自宅でも！」をコンセプトに、専門店のこだわりの味をお届けする宅配サービス「DEKIMATE」においては、牛タン、とんかつ、炭火焼肉、鰻等といった商品を提供し、検証を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて1,051百万円減少し、12,487百万円(前連結会計年度末残高13,539百万円)となりました。これは主として、現金及び預金が773百万円、売掛金が165百万円減少した一方で、商品が34百万円、投資有価証券が27百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて779百万円減少し、5,627百万円(前連結会計年度末残高6,407百万円)となりました。これは主として、買掛金が335百万円、未払金が210百万円、未払法人税等が165百万円、長期借入金が153百万円減少した一方で、ポイント引当金が33百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて271百万円減少し、6,859百万円(前連結会計年度末残高7,131百万円)となりました。これは主として、配当金291百万円の実施により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による特需の反動及び外部環境の変化による影響を見通すことが困難であることから、2023年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,142,744	6,369,302
売掛金	1,050,117	884,935
商品	142,170	176,227
原材料及び貯蔵品	588,910	573,985
その他	696,746	593,890
貸倒引当金	△20,209	△14,417
流動資産合計	9,600,479	8,583,923
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	703,990	688,442
その他(純額)	313,329	302,109
有形固定資産合計	1,017,319	990,552
無形固定資産		
投資その他の資産	379,178	350,867
投資有価証券	1,668,168	1,695,803
投資損失引当金	△150,000	△150,000
繰延税金資産	321,546	313,084
差入保証金	670,011	670,076
その他	74,184	78,190
貸倒引当金	△41,437	△44,603
投資その他の資産合計	2,542,473	2,562,552
固定資産合計	3,938,971	3,903,971
資産合計	13,539,451	12,487,895
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,282,584	947,368
1年内返済予定の長期借入金	616,668	613,728
未払金	884,598	673,959
未払法人税等	224,071	58,162
契約負債	47,238	58,275
ポイント引当金	230,811	263,921
株主優待引当金	71,592	53,167
その他	237,014	297,774
流動負債合計	3,594,580	2,966,358
固定負債		
長期借入金	2,263,395	2,109,963
資産除去債務	186,170	187,016
その他	363,705	364,612
固定負債合計	2,813,271	2,661,591
負債合計	6,407,851	5,627,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,067,207	1,067,207
資本剰余金	970,828	970,828
利益剰余金	6,677,528	6,386,703
自己株式	△1,700,321	△1,700,321
株主資本合計	7,015,243	6,724,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114,893	134,064
その他の包括利益累計額合計	114,893	134,064
非支配株主持分	1,463	1,462
純資産合計	7,131,599	6,859,945
負債純資産合計	13,539,451	12,487,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,866,720	5,461,069
売上原価	3,003,992	2,757,096
売上総利益	2,862,727	2,703,972
販売費及び一般管理費	2,671,115	2,650,052
営業利益	191,611	53,920
営業外収益		
受取利息	474	394
為替差益	6,389	1
業務受託料	1,418	1,418
投資事業組合運用益	-	0
投資有価証券売却益	5,840	73
その他	909	1,155
営業外収益合計	15,032	3,042
営業外費用		
支払利息	196	2,695
固定資産除売却損	284	1,678
加盟店舗買取損	59,008	14,160
投資事業組合運用損	2,381	-
その他	1,344	497
営業外費用合計	63,214	19,032
経常利益	143,429	37,931
特別利益		
受取保険金	3,136	362
特別利益合計	3,136	362
特別損失		
リース解約損	3,288	2,196
特別損失合計	3,288	2,196
税金等調整前四半期純利益	143,276	36,096
法人税等	49,806	34,976
四半期純利益	93,470	1,120
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,467	1,122

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	93,470	1,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,173	19,172
その他の包括利益合計	21,173	19,172
四半期包括利益	114,644	20,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,639	20,294
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、宅配事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。